LEICA Q2

ファームウェア アップデート

ファームウェア

カメラ名	ファームウェアバージョン
ライカ Q2	4.0

_NEW: 測光方式ハイライト重点

_NEW: シャドウ部を最適化する機能iDR(インテリジェント ダイナミックレンジ)

_NEW: アプリLeica FOTOSでファームウェアをアップデート

_より便利に: 撮影日時の順番で表示(再生モード)

_より正確に: Bluetooth接続

_より正確に: 位置情報記録(Leica FOTOS使用の際)

_拡張機能: 画像のプロパティ

_拡張機能: 動画形式

_拡張機能: データ管理オプション

取扱説明書(詳細編)は以下のURLからダウンロードできます。
http://jp.leica-camera.com/Service-Support/Support/Downloads

取扱説明書(詳細編)の冊子を無料でお送りします。ご希望の方は以下のURLからご注文ください。
www.order-instructions.leica-camera.com

ファームウェア アップデート

ライカは、製品の機能の向上や不具合の改善に継続的に取り組んでいます。デジタルカメラでは多くの機能がファームウェアで制御されており、お買い上げの後でも機能を追加したり不具合を改善したりすることが可能です。本製品をユーザー登録された方には、最新ファームウェアのリリース情報を随時お届けいたします。

最新のファームウェアをダウンロードして、本製品をアップデートしてください。

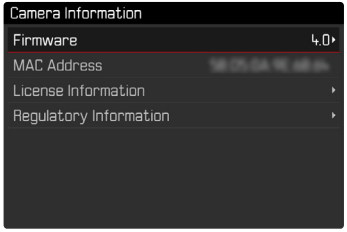
ファームウェアのアップデートは以下の方法で行うことができます。

- 楽にアプリ「Leica FOTOS」から
- カメラメニューから

現在インストールされているファームウェアのバージョンを確認するには

▸ メインメニューでカメラ情報を選択する。

- 現在のファームウェアバージョンが表示されます。



ファームウェアのアップデート情報、アップデートに伴う改善内容や追加機能、およびカスタマー登録について詳しくは、以下のサイトからご覧いただけます。

club.leica-camera.com

ファームウェアをアップデートする

ファームウェア アップデートを中断すると、カメラに重大かつ修復不可能な損傷を与える可能性があります。

ファームウェアのアップデート中には以下の事項を順守してください。

- カメラの電源を切らない。
- メモリーカードを取り出さない。
- バッテリーを取り出さない。
- レンズを取り外さない。

メモ

- バッテリー残量が十分でない場合は、警告メッセージがモニターに表示されます。バッテリーを充電してからファームウェアをアップデートしてください。
- カメラ情報のサブメニューにて国別に承認登録マークや番号を確認することができます。

使用前の準備

- バッテリーを満充電し、カメラに入れる。
- メモリーカードに他のファームウェアが保存されている場合は、必要のないものを消去する。
  - メモリカードに保存されているすべての画像をバックアップしてから、カメラでフォーマットすることをお勧めします。
    (注意:データ消失!フォーマットするとすべてのデータが削除されます。元に戻すことはできませんのでお気をつけください。)
- 最新のファームウェアをダウンロードする。
- メモリーカードに保存する。
  - ファームウェアファイルは必ずメモリーカード最上位階層に保存してください。下位階層では読み込みができません。
- メモリーカードをカメラに挿入する。
- カメラの電源を入れる。

カメラのファームウェアをアップデートする

- 準備する。
- メインメニューでカメラ情報を選択する。
- ファームウェアを選択する。
- アップデートを開始を選択する。
  - アップデートに関する情報とメッセージが表示されます。
- バージョン情報を確認する。
- はいを選択する。
  - プロファイル情報を SDカードに記録しますか?というメッセージが表示されます。
- はいまたはいいえを選択する。
  - アップデートが自動的に開始します。
  - 処理中は、LEDランプ(下)が点滅します。
  - 正常に完了すると、再起動を促すメッセージが表示されます。
- カメラの電源を入れなおす。

メモ

- 再起動後には、日付、時刻、言語を再設定する必要があります。確認メッセージが表示されます。

ハイライト重点測光

測光方式

本機では以下の測光方式が選択できます。
初期設定：多点

- スポット測光
- 中央重点測光
- ハイライト重点測光
- 多点測光

スポット

被写体の一部分のみをピンポイントに測光して露出を決定します。スポット測光とスポット測距、フレーム測距またはゾーン測距が設定されている際は、測光／測距エリアが連結します。これにより、もともと設定されていたAFフレームの位置で測光が行われます。

中央重点

画面中央部に重点を置きながら、画面全体を平均的に測光します。被写体以外の部分の明るさを考慮しながらも、主要被写体をメインとした露出で撮影する場合に適しています。

ハイライト重点

特に明るい部分に重点を置きながら、画面全体を平均的に測光します。これにより、特に明るい部分を直接測光することなく、露出オーバーを防ぐことができます。この測光方法は、他よりも著しく明るくなっている被写体（例：ヘッドライトを浴びた人）や、平均よりも反射率が高い被写体（例：白い服）に特に適しています。

多点	ハイライト重点
	
	
	

多点

画面の複数の部分を測光します。各エリアの輝度差を計算し、最適と思われる値で撮影します。

- ▸ メインメニューで測光モードを選択する。
- ▸ 希望する測光モードを選択する。
  （スポット、中央重点、ハイライト重点、多点）
  - 設定された測光方式は、モニターのヘッダーに表示されます。

スポット測光に設定時に測光枠を移動させる場合：

- ▸ セレクターボタンで希望する方向に移動させる。

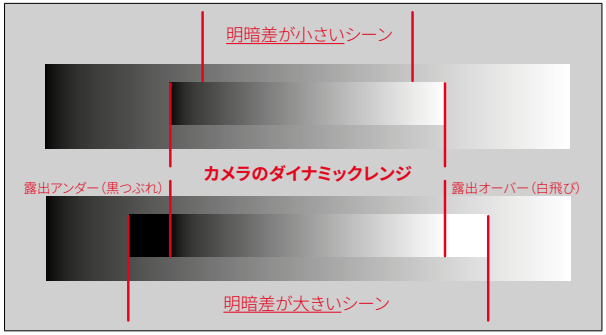
メモ

- 露出情報（ISO値、絞り値、シャッタースピード、露出補正目盛付き露出レベル）は、適正露出に必要な設定に役立ちます。

シャドウ部を自動で最適化

ダイナミックレンジ

撮影シーンの明るさの範囲は、最も明るい部分から最も暗い部分までのすべての明暗差を含みます。実際に撮影する場面の明暗差が小さく、カメラのダイナミックレンジ内である場合は、露出を調節することで撮影が可能です。逆に明暗差が大きい場合（室内で明るい窓を背景にした撮影、一部が日かげで一部が直接太陽に照らされている被写体の撮影、暗い部分と非常に明るい空のある風景の撮影など）は、カメラのダイナミックレンジの限界により、諧調を保ったまま明暗差を完全に再現することができません。そのため、白飛びや黒つぶれが起こります。



iDR機能

このiDR（インテリジェント ダイナミックレンジ）機能を使うと、適切なコントラストになるよう特にシャドウ部が自動補正されます。それによりディテール部までよく確認できるようになります。この機能はJPG画像にのみ有効です。

iDR使用なし	iDR使用
	

自動補正の強度を3レベルで（高、標準、弱）設定、または無効（オフ）にすることができます。オートに設定すると、撮影画面の明暗差を基にカメラが適切な設定を選択します。

効果は露出設定内容によっても異なります。この機能はISO感度が低く、シャッタースピードが速く設定されている場合に最も効果を発揮します。ISO感度が高いほど、またシャッタースピードが遅いほど、その効果は小さくなります。

初期設定：オート

- メインメニューでJPG設定を選択する。
- iDRを選択する。
- 希望する設定を選択する。
  （オート、高、標準、低、オフ）

メモ

- シャドウ部を最適化することで、ハイライト部の画像情報が少し失われます。

位置情報記録

位置情報を記録する（LEICA FOTOS APP接続時のみ）

アプリLeica FOTOSに接続すると、接続したモバイル端末の位置情報を記録することができます。画像のExifデータにその位置情報が記録されます（ジオタグ）。

- モバイル端末で位置情報機能をオンにする。
- Leica FOTOSを起動し、カメラと接続する（詳しくは取扱説明書の「Leica FOTOS」の項目をご覧ください）。
- アプリ内でジオタグをオンにする。

メモ

- 一部の国や地域では、GPS機能とGPS関連機器の使用が規制されています。違反した場合、当局から起訴される可能性があります。本機を外国に持ち込む場合は、持ち込み制限などがないか、大使館や旅行代理店にご確認ください。
- Bluetooth接続には数秒かかります。カメラのオートパワーオフ機能をオンに設定中の場合は、1分以上に設定してください。
- 再生時、位置情報を含むデータにはジオタグマークが表示されます。

位置情報記録状況

情報表示バーを表示すると、ジオタグの記録状態がモニターに表示されます。ホーム画面には常に最新の記録状態が表示されます。

	最新の位置情報（最終更新：最長15分前）
	位置情報が最新ではない（最終更新：最長12時間前）
	位置情報が古い（最終更新：12時間以上前） 位置情報はExifデータに記録されていません。
アイコンなし	位置情報記録がオンになっていない。

この機能は、カメラがLeica FOTOSに接続されている場合は常に位置情報が更新されます。そのためカメラとモバイル端末のBluetooth機能がオンになっている必要があります。アプリを開けておく必要はありません。

画像のプロパティの新設定項目

JPG画像と動画のプロパティは様々なパラメーターにより変更が可能です。これらはプロファイルのプリセットにて設定することができます。これまではコントラスト、シャープネス、彩度の調整が可能でした。それに加えてハイライトトーンとシャドウトーンの調整が可能になりました。これらのパラメータはすべてのプロファイルで設定が可能です。(モノクローム設定には彩度の設定はできません)

ハイライトトーン／シャドウトーン

露出設定や被写体もしくは撮影シーンのダイナミックレンジによっては、ハイライト部やシャドウ部のディテールがよく認識できない場合があります。パラメーターハイライトトーンとシャドウトーンは、露出オーバー部と露出アンダー部をそれぞれ調整することができます。例えば、被写体の一部が影になっている場合、シャドウトーンの設定を高くすることで、その部分が明るくなり、ディテールが見えやすくなります。逆に、既存のシャドウやハイライト部分を、デザイン上の理由でさらに強調することもできます。プラス値に設定するとより明るく、マイナス値はより暗くなります。

プロファイルを選択するには(静止画)

- メインメニューでJPG設定を選択する。
- フィルムモードを選択する。
- 希望するプロファイルを選択する。

プロファイルを設定するには(静止画)

- メインメニューでJPG設定を選択する。
- フィルムモードを選択する。
- フィルムモード設定を選択する。
- 希望するプロファイルを選択する。
- コントラスト/ハイライトトーン/シャドウトーン/シャープネス/彩度を選択する。
- 希望のレベルを選択する。
  (-2、-1、0、+1、+2)
- 確定する。

プロファイルを選択するには（動画）

- メインメニューで動画モードを選択する。
- 希望するプロファイルを選択する。

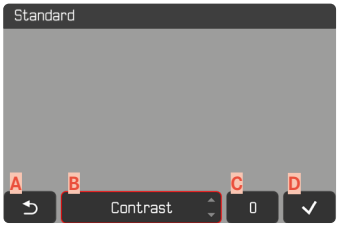
プロファイルを設定するには（動画）

- メインメニューで動画モードを選択する。
- 動画モード設定を選択する。
- 希望するプロファイルを選択する。
- コントラスト/ハイライトトーン/シャドウトーン/シャープネス/彩度を選択する。
- 希望のレベルを選択する。
  （-2、-1、0、+1、+2）
- 確定する。

メモ

- 動画ガンマの設定がオフの場合のみ動画モードが使用可能です。
  それ以外の設定の場合は使えません。

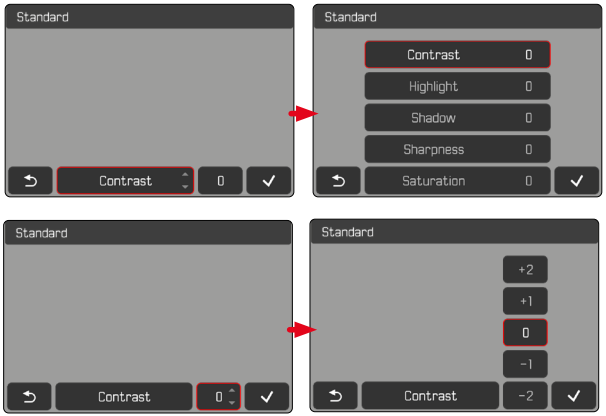
設定方法



A 「戻る」ボタン
（保存せずに終了）
B 「パラメーター」ボタン
C 「設定値」ボタン
D 「確定」ボタン
（保存して終了）

ボタン操作またはタッチ操作によって設定の操作方法が異なります。

モニター上の画像は、各種設定中も表示されます。そのため設定の効果をすぐに確認できます。



ボタン操作で行う場合

各種ボタン間を移動するには

- セレクターボタンの左または右を押す。
  - 選択中のボタンは赤枠で表示されます。

設定するには

- セレクターボタンの上または下を押す。
  - ボタンをタッチするとすぐに選択肢が切り替わります。

または

- センターボタンを押す。
  - 設定可能な選択肢が表示されます。
  - 「パラメーター」ボタンを押すと、各パラメーターの現在の設定値が表示されます。
- セレクターボタンの上または下を押す。
  - 選択中のボタンは赤枠で表示されます。
- センターボタンを押す。
  - 選択肢は表示されません。

タッチ操作で行う場合

- 希望するボタンをタップする。
  - 「パラメーター」と「設定値」ボタンでは選択可能な選択肢が表示されます。
  - 「パラメーター」ボタンを押すと、各パラメーターの現在の設定値が表示されます。
- 希望する選択肢をタップする。

保存する

- 「確定」ボタンを選択する。

中止する

- 「戻る」ボタンを選択する。

新たな動画形式

MOV						
C4K	29.97 fps	4:2:2 / 10 bit SD & HDMI	35 mm & APS-C	H.264	ALL-I	400 Mbps
	25 fps	4:2:2 / 10 bit SD & HDMI	35 mm & APS-C	H.264	ALL-I	400 Mbps
	24 fps	4:2:2 / 10 bit SD & HDMI	35 mm & APS-C	H.264	ALL-I	400 Mbps
4K	29.97 fps	4:2:2 / 10 bit SD & HDMI	35 mm & APS-C	H.264	ALL-I	400 Mbps
	25 fps	4:2:2 / 10 bit SD & HDMI	35 mm & APS-C	H.264	ALL-I	400 Mbps
	24 fps	4:2:2 / 10 bit SD & HDMI	35 mm & APS-C	H.264	ALL-I	400 Mbps
FHD	29.97 fps	4:2:2 / 10 bit SD & HDMI	35 mm & APS-C	H.264	ALL-I	200 Mbps
	25 fps	4:2:2 / 10 bit SD & HDMI	35 mm & APS-C	H.264	ALL-I	200 Mbps
	24 fps	4:2:2 / 10 bit SD & HDMI	35 mm & APS-C	H.264	ALL-I	200 Mbps

MP4						
4K	29.97 fps	4:2:0 / 8 bit SD & HDMI	35 mm & APS-C	H.264	Long GOP	100 Mbps
	25 fps	4:2:0 / 8 bit SD & HDMI	35 mm & APS-C	H.264	Long GOP	100 Mbps
FHD	180 fps	4:2:0 / 8 bit SD & HDMI	35 mm & APS-C	H.264	Long GOP	20 Mbps
	150 fps	4:2:0 / 8 bit SD & HDMI	35 mm & APS-C	H.264	Long GOP	20 Mbps
	120 fps	4:2:0 / 8 bit SD & HDMI	35 mm & APS-C	H.264	Long GOP	20 Mbps
	100 fps	4:2:0 / 8 bit SD & HDMI	35 mm & APS-C	H.264	Long GOP	20 Mbps
	29.97 fps	4:2:0 / 8 bit SD & HDMI	35 mm & APS-C	H.264	Long GOP	20 Mbps
	25 fps	4:2:0 / 8 bit SD & HDMI	35 mm & APS-C	H.264	Long GOP	20 Mbps

データ管理

最大フォルダー番号は999まで、画像番号は9999まで拡張されました。